

2020年 7月 14日

お客様各位

田淵電機株式会社  
エネルギー・ソリューション事業本部  
本部長 宮城 康夫

## 自然災害時におけるパワーコンディショナ・蓄電システムに関するお知らせ

拝啓

平素は弊社製品をご愛顧頂き、厚く御礼申し上げます。

先般の大雨等で被害を受けられた方々におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。

自然災害時における弊社製品に関するお知らせにつきまして、下記のとおりご案内申し上げます。

敬具

### 記

#### 1. 太陽光発電用パワーコンディショナ

製品が浸水・水没した場合、またはその形跡がある場合は感電のおそれがあるため、製品には近づかず、絶対に触れないようにしてください。

ご注意：ハイブリッドパワーコンディショナは蓄電池の電力により、停電中・夜間であっても感電の恐れがあります。

本件の対応については、一般社団法人太陽光発電協会(JPEA)のお知らせをご確認ください。

- ・太陽光発電設備が水害によって被害を受けた場合の対処について

[http://www.jpea.gr.jp/pdf/t180710\\_1.pdf](http://www.jpea.gr.jp/pdf/t180710_1.pdf)

- ・太陽光発電システム被災時の点検・撤去に関する手順・留意点【水害編】

[http://www.jpea.gr.jp/pdf/t180710\\_2.pdf](http://www.jpea.gr.jp/pdf/t180710_2.pdf)

#### 2. リチウムイオン蓄電池ユニット

製品が浸水・水没した場合、またはその形跡がある場合、感電・発煙・発火のおそれがあるため、製品には近づかず、絶対に触れないようにしてください。内蔵蓄電池に電気を蓄えており、停電中・夜間であっても感電の恐れがあります。

また、蓄電池ユニットに液漏れがある場合は、液体には触れないでください。液体が目や皮膚に付着したときは、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診断を受けてください。傷害を起こすおそれがあります。

本件の対応については、一般社団法人日本電機工業会(JEMA)のお知らせをご確認ください。

- ・水害の際の蓄電システムの取扱いに関する注意点

<https://www.jema-net.or.jp/jema/data/1604PowerStorage.pdf>

### 3. EIBS7 をご利用の場合

EIBS7 は自動運転を行い、停電を検出すると自動的に自立運転に切り替わります。

製品が浸水・水没した場合、またはその形跡がある場合はシステムモニタにて手動停止してください。

その後は本紙 1 項に従って対処してください。

#### ■ ハイブリッドパワコンの手動による停止方法

スマートフォンのトップ画面で、「太陽電池」の辺りをタップすると、運転/停止ボタンにアクセスできます。



#### ■ 運転/停止ボタン

ハイブリッドパワコンの運転/停止ボタンです。停止は、ルータからWi-Fi接続している状態であれば、停止ボタンをタップすれば、停止します。ただし、ハイブリッドパワコンを運転するには、スマートフォンをパワコン本体の無線LANと接続して、運転ボタンをタップする必要があります。

尚、商用電源が停電している状態で、日射がないため太陽電池の出力がなく、かつ蓄電池の残存容量がゼロの場合、運転/停止ボタンの操作は無効となります。

- 本システムは特別な場合を除き、「運転/停止」操作は必要ありません。
  - 運転操作を行うにはハイブリッドパワコンの設置場所まで行き、スマートフォンをハイブリッドパワコン本体の無線LANに接続する必要があります。\*
  - 不用意に「停止」しないようご注意ください。
- ※ハイブリッドパワコン本体の無線LANのSSID/パスコードは「運転」をタップした際、システムモニタに表示されます。

以上